

認定まちづくり適正建築士の肩書にて、まちづくり活動をしています。

登録有形文化財 西野家住宅 一般見学会を
ふくいヘリテージ協議会さまに主催をお願いし、6月に行いました。
11月2日には、越前和紙を愛する会さま主催にて一般公開を行います。

・JIA建築家大会 2019inHIROSAKIにて、
福井地域会の高嶋猛氏が 保存再生会議・支部報告 として
西野家住宅の活動報告がありました。

美しい日本の歴史的風土 100選『越前和紙 五箇地域』にある、
越前市五箇 登録有形文化財 西野家住宅
(越前和紙 五箇地域でも 最上位のお屋敷です。)

※

美しい日本の歴史的風土 100選 とは

福井県では5地域です。

- 1・曹洞宗永平寺
- 2・一乗谷遺跡、松平家城下町
- 3・越前和紙の里 五箇地域
- 4・小浜社寺群、城下町
- 5・平泉寺

見学無料
申込不要

令和元年

11月2日 | 土 |

越前市五箇 登録有形文化財

西野家住宅
一般公開



西野家東面



西野家西面 (県道側)

西野家本家住宅

越前市定友町 4-8-1 岡本公民館東側

主屋: 江戸末期 妻入卯建(離れを昭和初期に増築)

蔵: 6 棟(江戸末期～昭和 22 年頃)

茶室: 明治 42 年頃

福井県の紙業界はじめ「人絹王国・福井」の産業界をリードしてきた越前五箇・西野家の登録有形文化財 本家住宅（『和紙の里』39号掲載）が今回所有者のご厚意で特別に見学することができます。地域のために、活用希望者を募集しています。

※会場はバリアフリーではございませんのでご了承願います

※一部、内部を見学できない場所もございます

■越前市文化財保護委員 高嶋 猛 先生と

ふくいへリテージ協議会会員が要所で説明をいたします

受付時間 10:00～11:15 (見学は 11:45 まで)
13:00～15:15 (見学は 15:45 まで)

所要時間 約 30 分
※来場者が 30 人以上になる時間帯は
お待ちいただく場合がございます

駐車場 岡本公民館または
紙の文化博物館前

活用希望者
募集中!

詳しくは

ふくいへリテージ協議会



主催: 越前和紙を愛する会
共催: ふくいへリテージ協議会
協力: 吉田修二郎
(JIA 登録建築家 / 認定まちづくり適正建築士)
西野商会
後援: 越前市、越前市教育委員会

お問い合わせ:
越前和紙を愛する会事務局
(越前和紙の里 紙の文化博物館)
0778-42-0016 [9:30～17:00]
museum@echizenwashi.jp

越前市五箇 登録文化財 西野家住宅 一般見学会

福井県の紙業界はじめ羽二重織「人絹王国・福井」の産業界をリードしてきた越前五箇・西野家の登録文化財 本家住宅（『和紙の里』39号掲載）が今回所有者のご厚意で特別に見学することができます。地域のために活用できないか検討中です。

※会場はバリアフリーではないのでご了承願います／一部、内部を見学できない場所もあります



西野家東面



西野家西面（県道側）

日 時：令和元年6月8日（土）

受付：10:00～11:15（見学は11:45まで）

13:00～15:15（見学は15:45まで）

所要時間は30分程度（来場者が30人以上になる時間帯はお待ちいただくこともあります）

場 所：西野家住宅（越前市定友町4-8-1、岡本公民館東側）

主屋：江戸末期 妻入卯建（離れを昭和初期に増築）

蔵：6棟（江戸末期～昭和22年頃）、茶室：明治42年頃

説 明：ふくいヘリテージ協議会会員が要所で説明をさせていただきます。

説明監修：越前市文化財保護委員 高嶋 猛 先生

駐車場：午前は紙の文化博物館駐車場（岡本公民館駐車場は使用不可）

午後は岡本公民館駐車場をご利用ください。

会 費：無料

事前申込：不要

主 催：ふくいヘリテージ協議会

協 力：J I A登録建築家

認定まちづくり適正建築士 吉田修二郎

後 援：越前和紙を愛する会

越前市、越前市教育委員会

問合先：ふくいヘリテージ協議会事務局 尾野

[メールアドレス ono-km@beach.ocn.ne.jp]

□ 西野家住宅（越前市定友町（旧今立町定友））

旧今立町五箇地区は越前和紙の産地で、4～5世紀頃から生産されていたと伝えられ、現在も良質な和紙を生産している。

明治初期に日本政府の太政官札用紙の漉きたても行われ、明治30年代からは奉書紙・障子紙・光沢紙の生産が、明治後期からは近代的な製紙工場の創業が開始されている。西野家は昭和初期には大規模な製紙工場を運営し、越前和紙生産を牽引した製紙家の一軒である。

広い敷地に、一つ山を越えた池田の集落にあった近世の農家を移築・改修し、増築を加えた主屋・及び増築された離れが北側に、堅牢な造りの土蔵3棟が西側に、製品や日用品の大きな土蔵3棟と通称茶室が南側に建ち、旧道が東を通る。

無住の期間が長かったが、平成29年(2017)に国の登録有形文化財に登録され、保存活用方法の本格的な検討が開始された。地元の人々も目にする機会が少なかった内部をまず地元と建築関係者に公開し、活用策も検討した。今秋にはさらに公開範囲を広げ、活用募集者を募集する。

この活動は、JIA福井地域会の吉田修二郎氏が活動中心の1人となり、ふくいへリテージ協議会の主体的で強力な援助を受け、J I A福井地域会会員が協力している。

2019年(令和元年)6月9日(日曜日)



西野家住宅 活用案募る
 国の有形文化財初の一般公開
 越前市五箇地区にある農家も進出するなど、明治以降の集落保存をけん引してきた西野家住宅(定友町)が、住宅は約千五百年から八日、初めて一般公開された。江戸から昭和にかけて建てられた建物は保存状態が良く、今後は地域のたに活用される予定。西野家が活用案を募っており、住宅の敷地面積は約二千平方メートル、主屋、離れ、茶室、蔵など十数棟がある。主屋は東側が江戸末期に池田町から移築され、玄關に面して御座を立ち上げた「野入御座」が特徴。西側は大正前期に増築した土蔵が並ぶ。西野家は江戸から昭和にかけて、製紙産業の近代化に貢献したほか、建築物に

も進出するなど、明治以降の集落保存をけん引してきた西野家住宅(定友町)が、住宅は約千五百年から八日、初めて一般公開された。江戸から昭和にかけて建てられた建物は保存状態が良く、今後は地域のたに活用される予定。西野家が活用案を募っており、住宅の敷地面積は約二千平方メートル、主屋、離れ、茶室、蔵など十数棟がある。主屋は東側が江戸末期に池田町から移築され、玄關に面して御座を立ち上げた「野入御座」が特徴。西側は大正前期に増築した土蔵が並ぶ。西野家は江戸から昭和にかけて、製紙産業の近代化に貢献したほか、建築物に

中日新聞 2019. 6. 9